

構造化抄録の書き方

構造化抄録(Structured Abstracts)とは、一般的に IMRAD(Introduction, Materials and Methods, Result, and Discussion) と言う、序文、方法、結果、考察といったスタイルで記載された抄録を指します。

○「研究」における構造化抄録の記載方法

- ・タイトル(題名): この研究においてもっとも関心のある事象を加えてください。
- ・本文:【背景】【目的】【方法】【結果】【結論】の項立てに沿って記載してください。考察は不要です。
 1. 背景=この研究の価値ある点を説明して下さい。
目的とまとめて「始めに」などとせず、分けて記載してください。
 2. 目的=可能な限り仮説を記載してください。
 3. 方法=下記を盛り込んでください。
研究デザイン、対象患者、介入方法(介入がある場合)、主要評価アウトカム
 4. 結果=結果を簡潔に記載してください、
 5. 結論=この研究結果から得られる、読者への主なメッセージを記載してください。

○「症例・経験・その他報告」における構造化抄録の記載方法

- ・タイトル(題名):「~の1症例」、「症例報告」などの言葉を入れ、もっとも関心のある事象(たとえば診断、検査、介入など)を加えてください。
- ・本文:【背景】【目的】【臨床経過】【結論】もしくは【背景】【臨床経過】【結論】の項立てに沿って記載してください。考察は不要です。
 1. 背景=この症例報告の価値ある点を説明してください。目的がある場合は別に記載してください。
 2. 臨床経過(case presentation)=症例プレゼンテーションの原則に基づき、年齢、性別、必要があれば人種に加えて、簡潔に主な症状・身体所見・検査所見・経過・アウトカムを記述してください。
 3. 結論=この症例から得られる、読者への主なメッセージを記載してください。
- ・症例や経験などの報告事項にどのような価値があるか、何が新規の知識として追加されるか、読者にわかるように記載してください。価値ある報告事項として下記のような内容があげられます。
 - ・非典型的な臨床経験
 - ・新しい診断方法の報告
 - ・新しいもしくは稀な有害事象の経験
 - ・アウトカムを改善した介入の経験
 - ・臨床ケアを改善した経験
 - ・教育(臨床提示)